

技術委員会からの追加意見及び事業者の見解

No.	区分	委員名	意見要旨	事業者の説明、見解等要旨
1	騒音	塩田委員	<p>・準備書258ページ及び276ページの②予測式のΔLの式が間違っているのではないか。「道路環境影響評価の技術手法2007改訂版」((財) 道路環境研究所) 270ページを再確認のこと。</p> $\Delta L = 10 \log \left((10L_{Aeq, HC/10} + 10L_{Aeq, R/10}) / 10L_{Aeq, R/10} \right)$	<p>【事後回答】</p> <p>・資料4-1のとおり修正します。</p>
2	騒音	塩田委員	<p>・準備書266ページ(d)、回折条件で、工事用仮囲いによる回折効果は、周波数を考慮した計算をしなければならないが、音源の音響パワーレベルの周波数特性は、表示されていない。少なくとも油圧ハンマは、表示していた方が良い。</p>	<p>【事後回答】</p> <p>・油圧ハンマを含め、建設作業機械の周波数は1 kHzとして予測計算をおこなっていることを評価書内に明記します。</p>
3	騒音	塩田委員	<p>・準備書270ページ図4.2-9(1)音源高さ(H=1.5m)と予測高さ(H=1.0m)の違いは。また、受音点高さ(H=1.2m)の表示もあり、ばらばら。根拠をしっかりと記載する方が良い。</p> <p>・可能であれば、使用したノイズコンターのソフトプログラムを提示した方が良い。</p>	<p>【事後回答】</p> <p>・建設作業騒音の音源位置については、「建設工事騒音の予測モデル“ASJ CN-Model2002”-日本音響学会建設工事騒音予測調査研究会報告-」(2002, 日本音響学会誌58巻11号)に示されるとおり建設機械の駆動部の平均高さとして地上1.5mを設定しました。予測高さは「道路環境影響評価の技術手法2007改訂版」((財) 道路環境研究所) 251ページに示されるとおり地上1.2mとして設定しました。</p>
4	騒音	塩田委員	<p>・準備書284ページの③予測条件の設定、表4.2-35に示している値を準備書288ページC. 障壁位置(表4.2-36(1, 2))に記している周波数特性を利用しているのであれば、少なくとも2, 3の機器類の周波数特性は、記載しておくことが必要である。</p> <p>・どのような計算式を用いたのか記載すべき。</p> <p>(例) 施設内から施設外へ伝搬する音の音圧レベル$L_r = L_w + 10 \log(F/A) - TL - 20 \log(r) - 8$ここに、$L_w$: 機器の音響パワーレベル、$F$: 外壁の表面積、$TL$: 外壁の透過損失$A$: 施設内の吸音力、$L_r$: 予測地点の騒音レベル、$r$: 外壁から予測地点までの距離。</p>	<p>【事後回答】</p> <p>・騒音発生設備・機器類の周波数特性は資料4-2のとおりです。</p> <p>・用いた計算式は資料4-2のとおりです。</p>
5	振動	塩田委員	<p>・準備書297ページの3)地盤卓越周波数地盤卓越周波数だけでなくN値との比較も示すべき。(地盤周波数とN値の関係)</p>	<p>【事後回答】</p> <p>・「道路環境影響評価の技術手法2007改訂版」((財) 道路環境研究所) によると、交通振動の予測に際し、現地の地盤卓越振動数を用いて予測を行う旨の記載があることから、本調査ではN値ではなく、現況の地盤卓越振動数を測定しました。なお、道路交通振動の調査・予測地点が位置する道路沿道ではありませんが、想定対象事業実施区域周辺では、水象調査の一環として準備書373ページに示す位置(BP. NO. 1~3の3地点)においてボーリング調査を行っており、標準貫入試験によるN値が14以上であったことから、比較的硬い地盤であると考えております。</p>

No.	区分	委員名	意見要旨	事業者の説明、見解等要旨
6	低周波音	塩田委員	<p>準備書326、327ページの(4)調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ G特性音圧レベル(1-20Hz) ・ 1/3オクターブバンド別平坦特性音圧レベルに ・ 低周波音圧レベル(1-80Hz)を追加されたい 	<p>【事後回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2-2に示すとおりです。
7	低周波音	塩田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 超低周波音(1-20Hz)と可聴音(20-80Hz)を含めて、低周波音と呼称している。前者は、G特性、後者は、Z特性(平坦)で表現している。このことから、低周波音であれば、周波数は、1-80Hzとなっているので、これらについても記載することが必要である。 	<p>【事後回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2-2に示すとおりです。